

経営比較分析表（令和2年度決算）

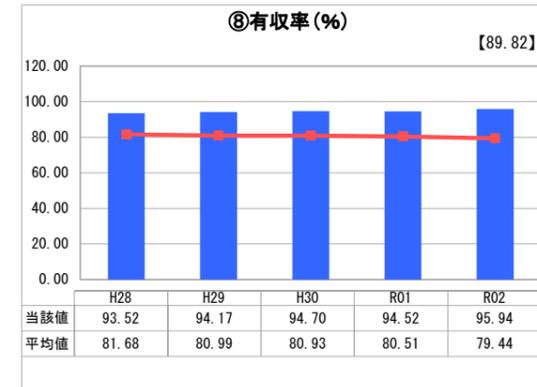
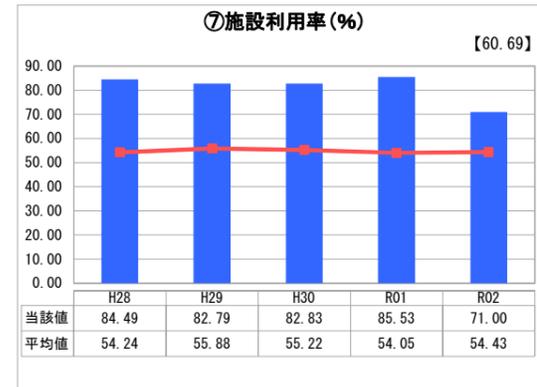
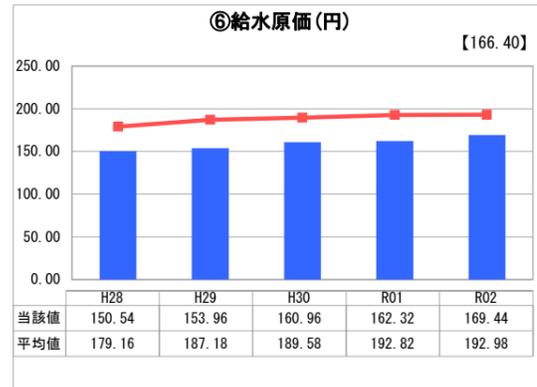
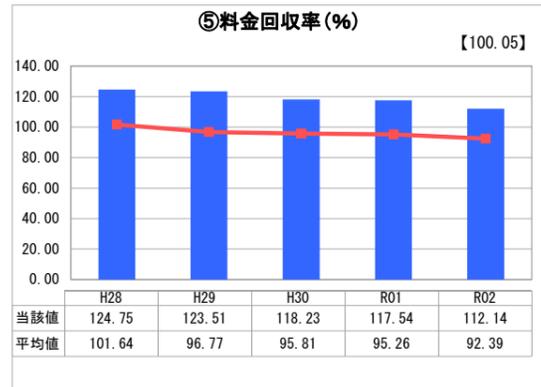
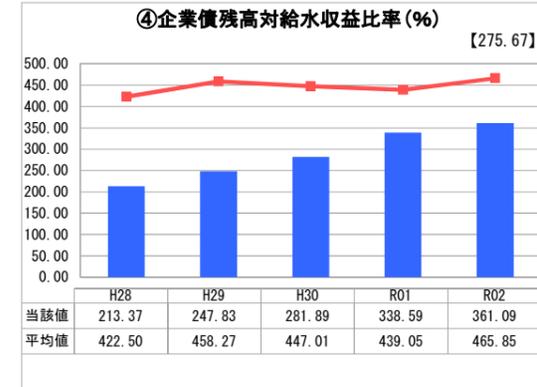
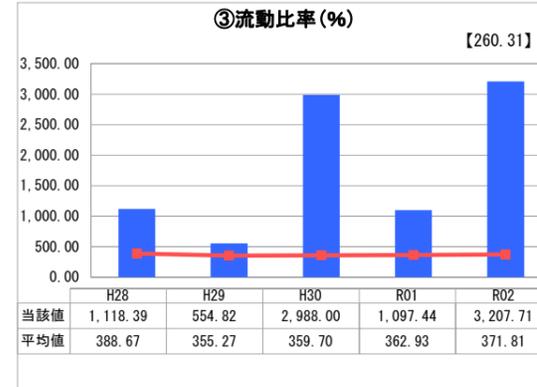
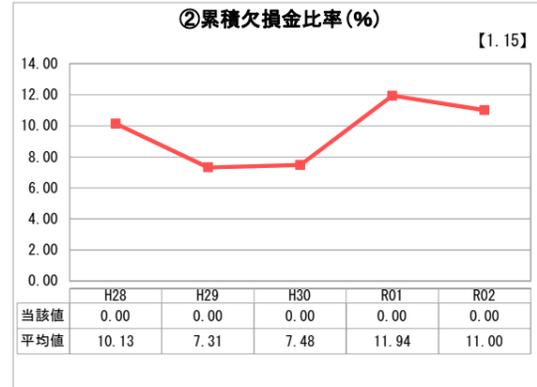
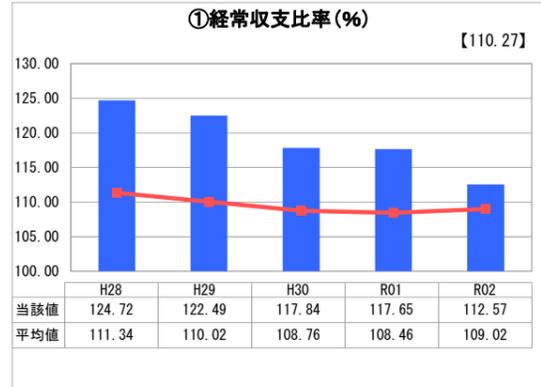
福岡県 大木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.37	99.82	3,870	

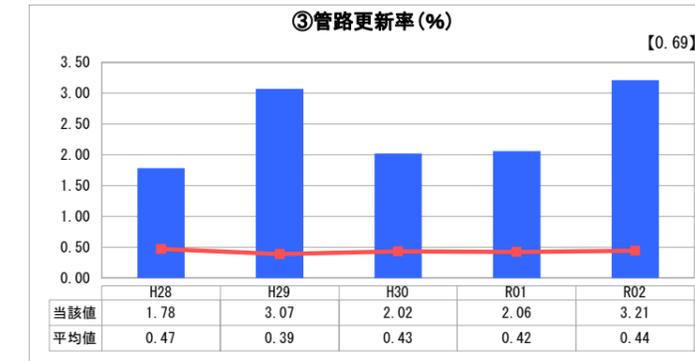
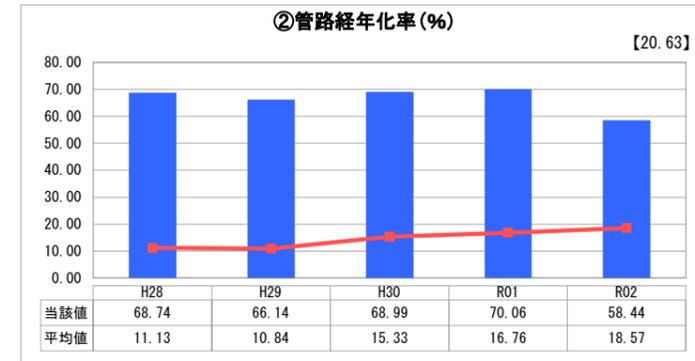
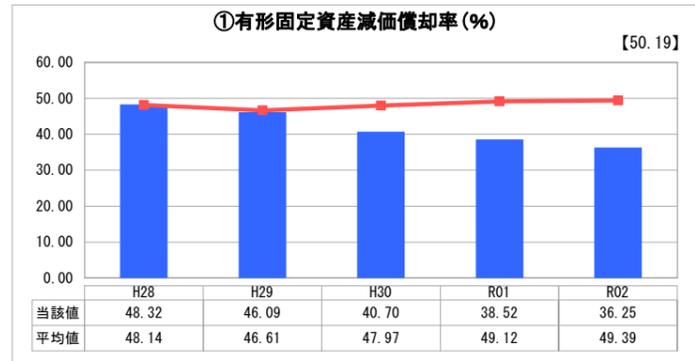
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,085	18.44	763.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,000	18.43	759.63

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体平均と比較すると、健全性・効率性は保たれているが、年々経常収支比率は逼迫している。今後経過を注視し、必要な時期に料金改定の検討を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

類似団体と比較すると、管路経年化率が高い。平成27年度から更新事業に着手しており、厳しい財政状況下ではあるが、今後も更新事業を継続していく必要がある。

全体総括

すべての項目において類似団体と比較すると、良好と考えられるが今後も経営と水道施設の健全化を維持していく必要がある。